



■目次

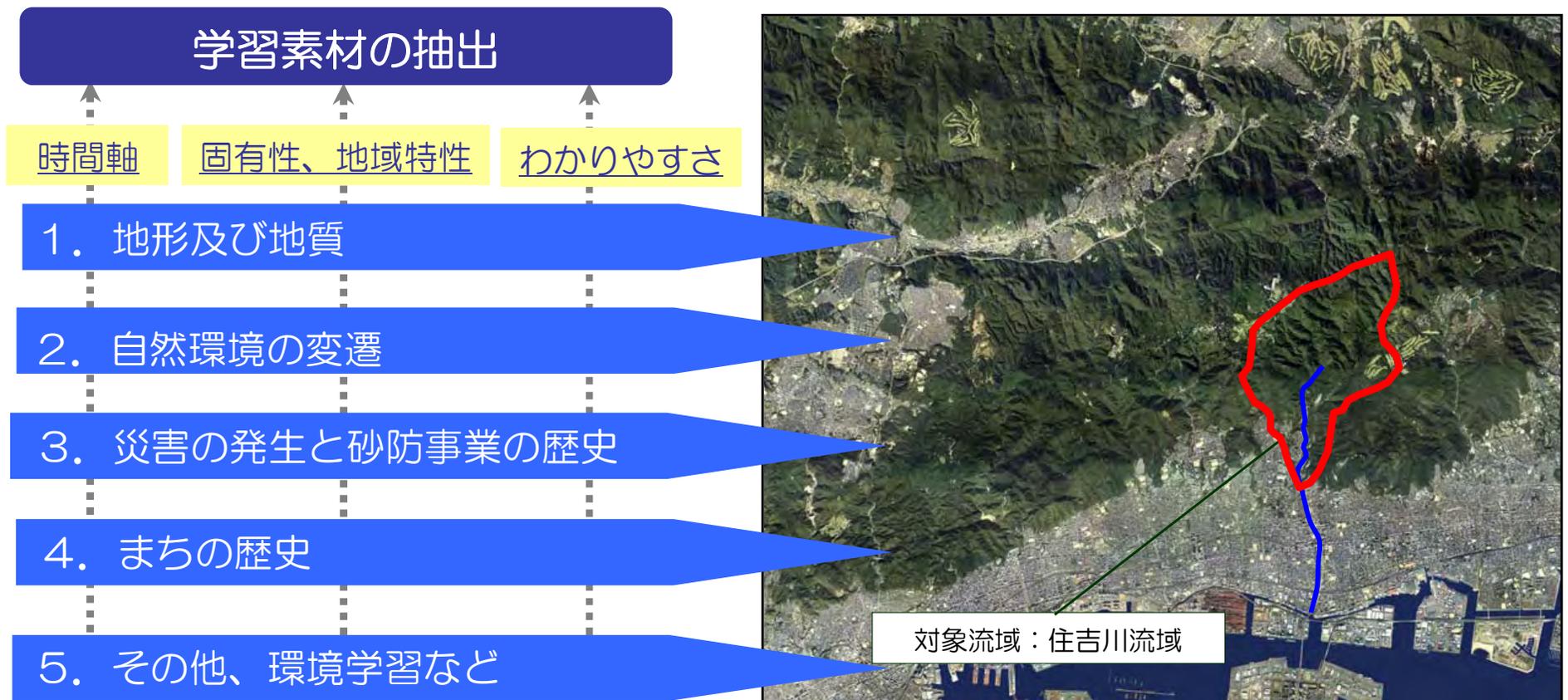
□資料作成の目的	1
1. 自然環境	2
2. 土砂災害と砂防事業	10
3. まちの歴史を伝える史跡	13
4. 沿川の道	17
5. 環境学習などの活動状況	19

平成18年10月30日（月）

国土交通省 近畿地方整備局 六甲砂防事務所

資料作成の目的

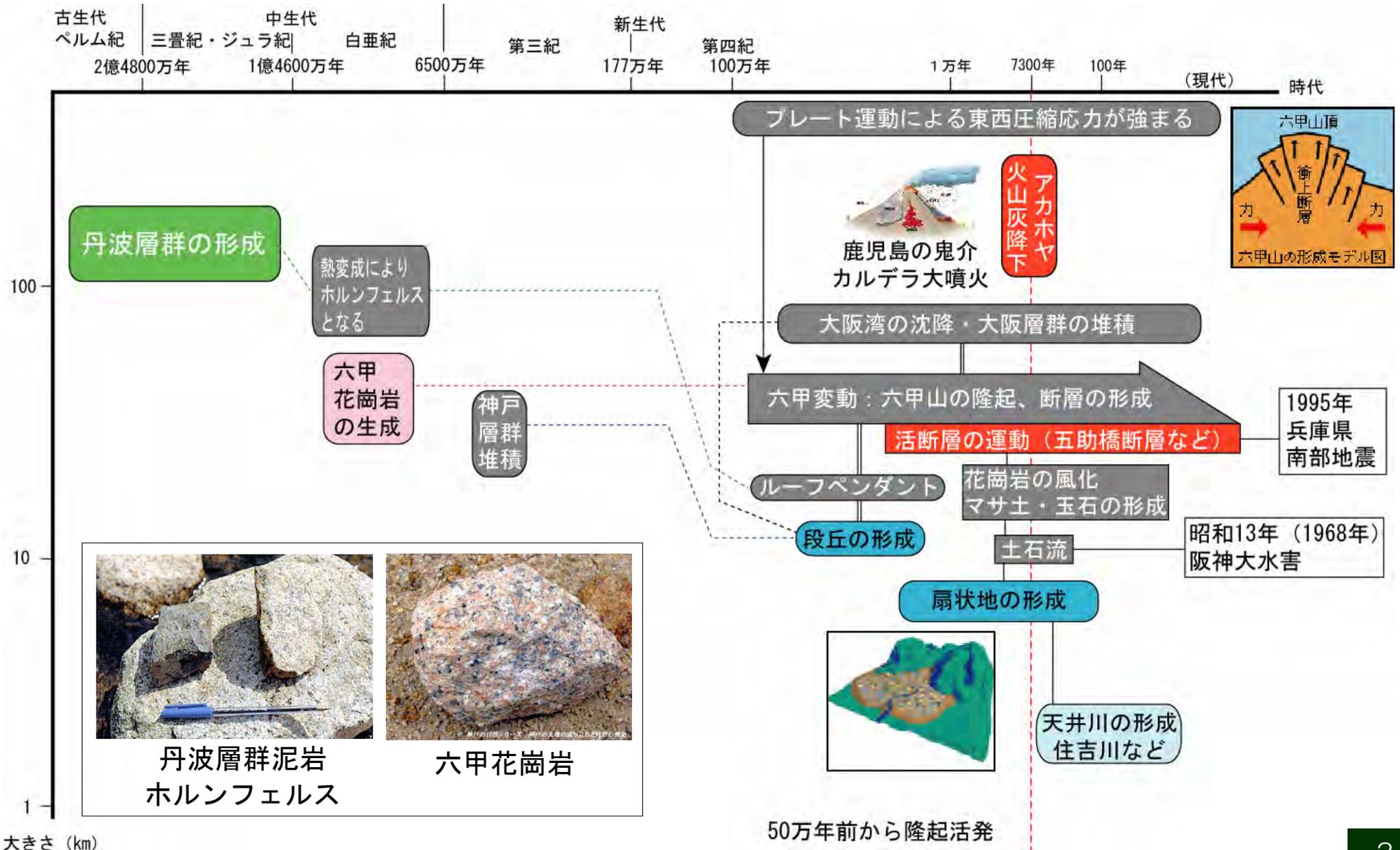
- 本資料は、住吉川流域の「学習素材」となる資源を、**時間軸、固有性、地域特性等**の観点から抽出したものであり、資源情報の確認と共有を目的としています。また、検討の際の基礎資料として位置づけるものです。



■学習ゾーンの対象とする流域の考え方

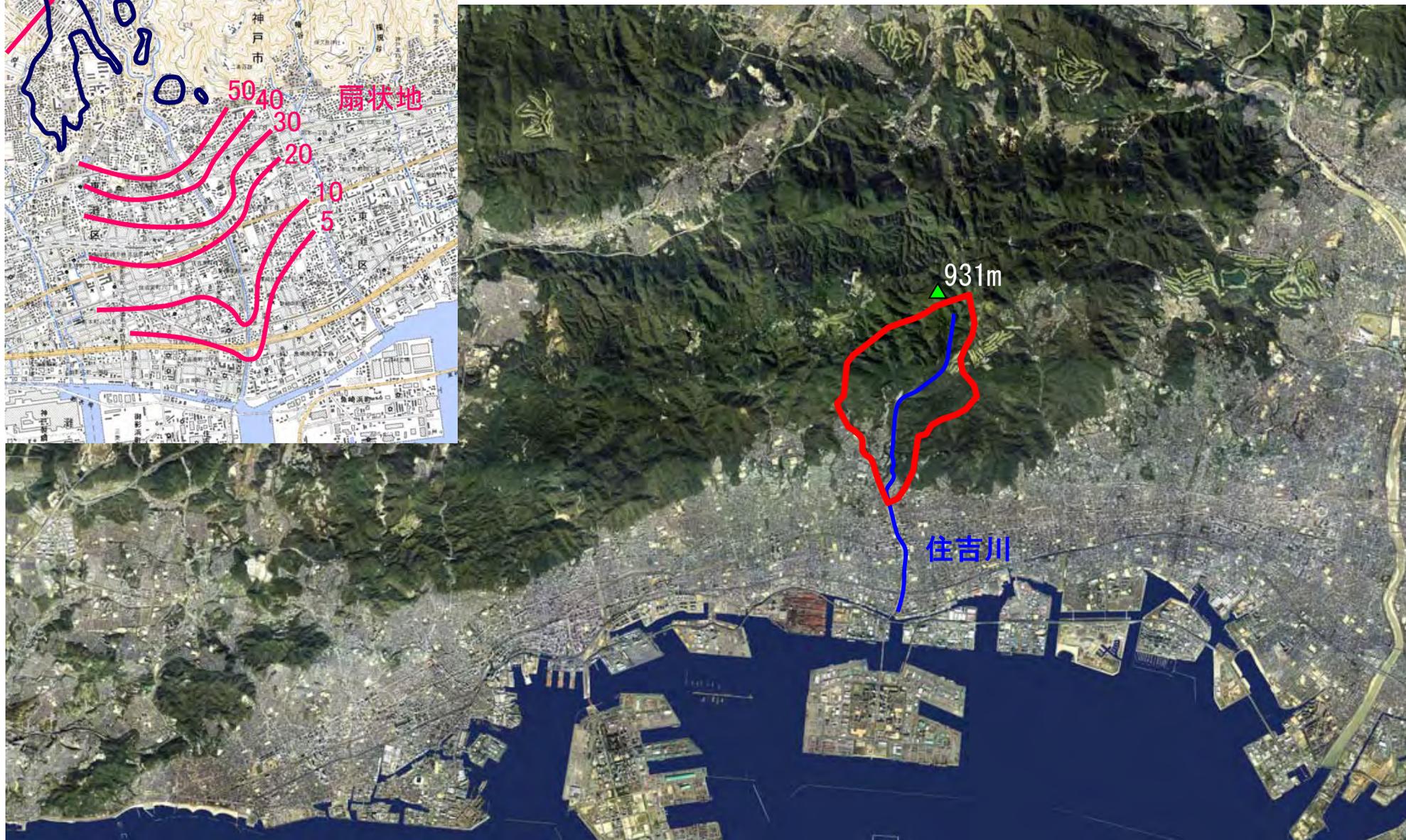
流域の選定は、児童・生徒等が、安全に楽しみながら活動できること、流域や沿川沿いに「自然環境」「砂防事業」「まちの歴史」等の多様な素材を有していることなどから、住吉川を選定します。

■ 住吉川流域では五助橋断層の露頭が見られる。西滝ヶ谷の露頭では、断層運動によってアカホヤ火山灰層をはさんだ砂礫層が変位しており、7300年前以降に五助橋断層が活動した証拠として学術的に貴重なものである。また、川沿いでは六甲花崗岩や丹波層群などの六甲山を代表する岩石を見ることができる。





■ 住吉川は六甲最高峰に源を発して南下し、五助橋断層に沿って南西に進路を変える。平地では川から流出した土砂によって形成された扇状地と天井川地形を見ることができる。



□五助橋断層；「改訂・兵庫の貴重な自然」Aランク



上記写真出典：
「阪神・淡路大震災と神戸の活断層」



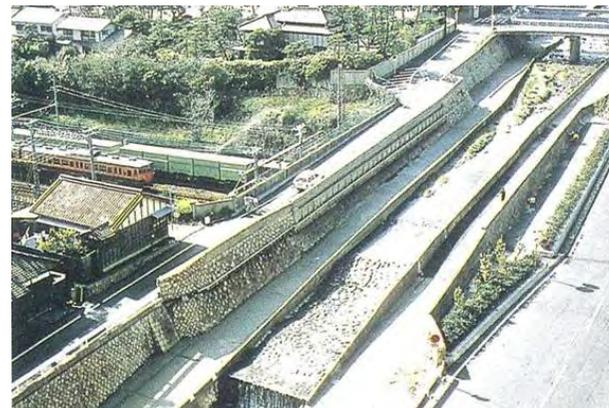
□花崗岩と丹波層群

丹波層群；六甲で最も古い地質

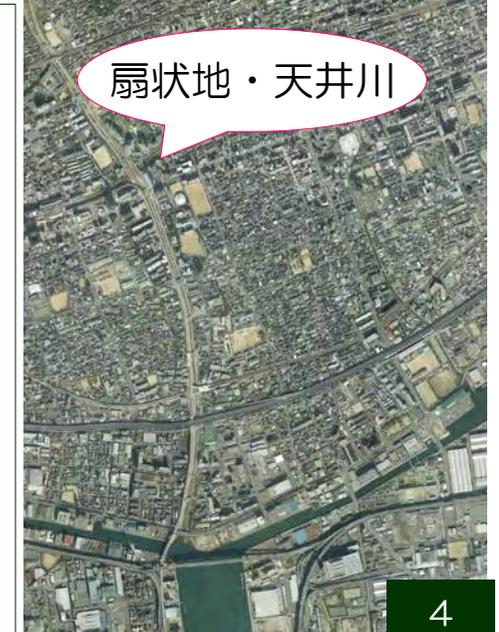


□天井川景観

「改訂・兵庫の貴重な自然」Bランク



昭和60年頃の住吉川と国鉄（当時）神戸線



- 植生の大部分は、人間の経済活動により荒廃したが、明治時代以降の植林によりアカマツ林、コナラ林、ニセアカシア林など形成された。



□ 六甲の自然林

原始の六甲山系は、ブナ、ミズナラ、コナラ、シイ、クスノキなどが森を形成していたと考えられている。



□ 荒廃した六甲（明治初期）

江戸から明治時代、伐採や火入れにより、六甲山の緑は壊滅状態に陥った。



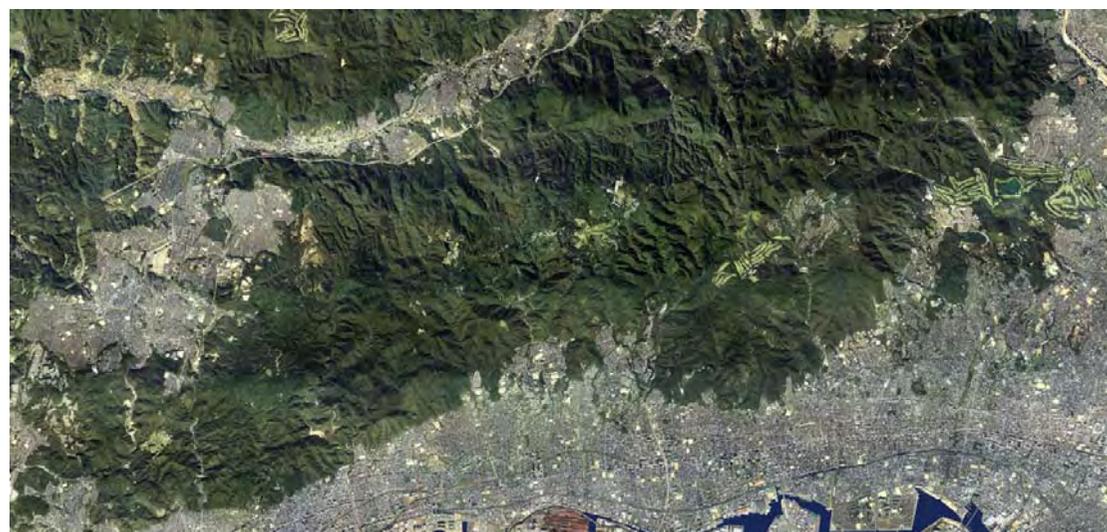
□ 砂防植林の開始

明治35年、土砂災害から市街地を守るため、砂防植林がはじまった。

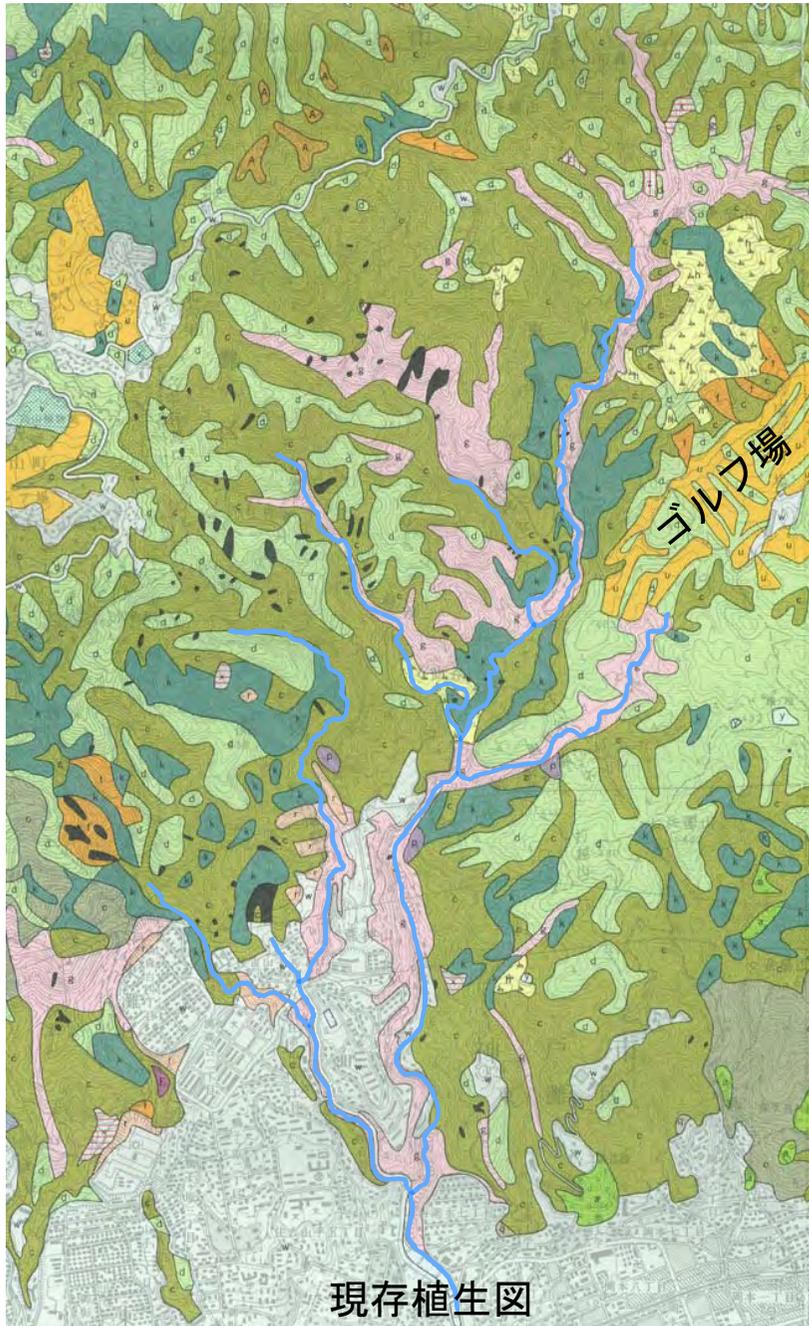


□ よみがえった六甲の緑

現在、100年に及ぶ緑回復への様々な努力の結果、人や動植物に恩恵をもたらす豊かな緑がよみがえった。



■住吉川流域は、コナラ-アベマキ群落、アカマツ-モチツツジ群落などで構成されている。また、谷筋沿いはクズ-フジ群落、ウツギ-ボタンツル群落である。



- 現存植生図凡例
- クズ-フジ群落及びウツギ-ボタンツル群落
 - アカマツ-モチツツジ群落
 - コナラ-アベマキ群落
 - スギ-ヒノキ群落
 - ススキ-ネザサ群落
 - オオバヤシャブシ群落

■ 住吉川流域で確認された瀬戸内海自然公園特別地域内指定植物



● イワタバコ



● ショウジョウバカマ

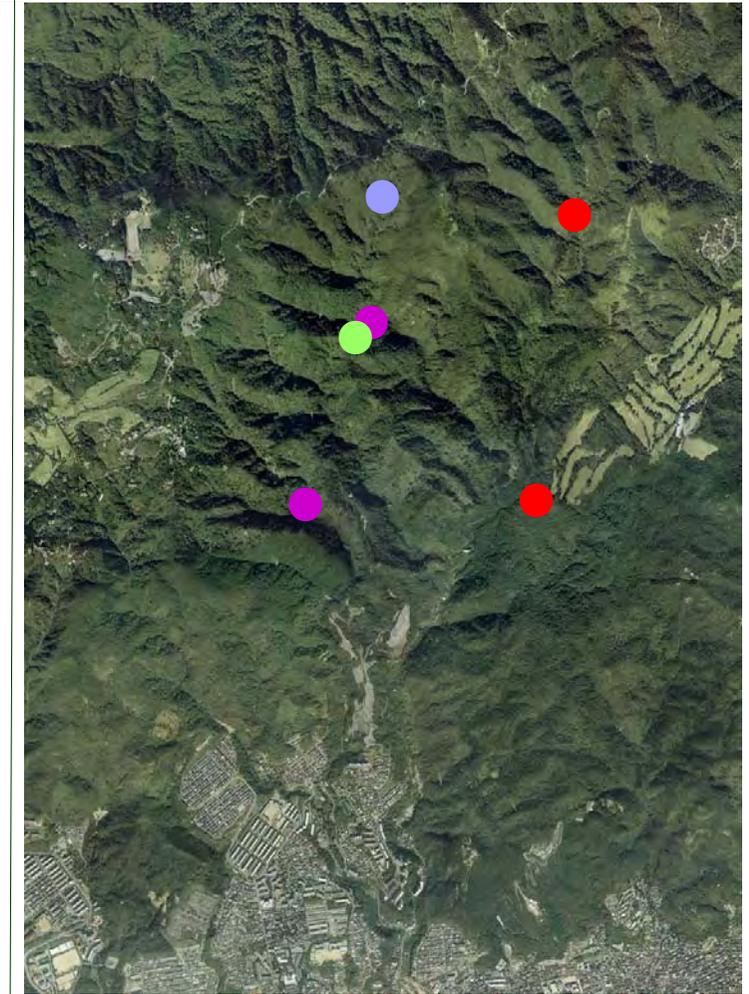


● コバノ ミツバツツジ



● チャルメルソウ

参考：平成6年度水と緑の溪流づくり調査業務



※ 「改訂・兵庫の貴重な自然」に記載されている
住吉川近隣の貴重な植物群落

- ・ 六甲山山頂付近のブナ群落（ランクB）
- ・ 東お多福山のススキ・ネザサ群落（ランクB）



イヌブナ林



ススキ・ネザサ群落

■ほ乳類

- ・住吉川流域ではニホンイノシシ、ニホンテンがほぼ全域で確認されている。
- ・その他、ノウサギ、タヌキ、キツネ、ニホンリス、アカネズミ、コウベモグラ、ヒミズモグラなど



ニホンイノシシ

■鳥類

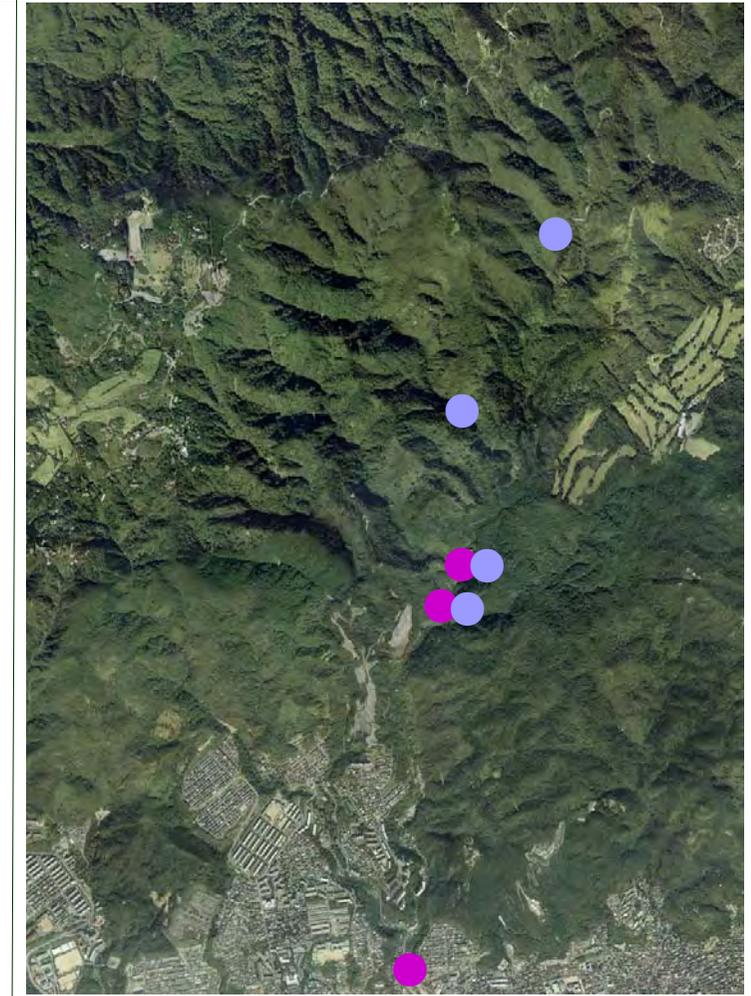
- ・六甲山系では130種を超える鳥類が確認されており、住吉川流域でも43種の生息が確認されている。7種の「改訂・兵庫の貴重な自然」記載種が確認されている。



●カワセミ



●ハイタカ



※「改訂・兵庫の貴重な自然」記載種
左記の他

- ・アオバズク
- ・アオゲラ
- ・ヨタカ
- ・キビタキ
- ・コガラ

■ 住吉川で確認されたは虫類など

- ・ は虫類：カナヘビ、マムシなど4科7種。
- ・ 両生類：カジカガエルなど5科7種。内3種が絶滅危惧種。
- ・ 魚類：カワムツ、カワヨシノボリ、アマゴ、など4科9種。
- ・ 昆虫：甲虫、チョウ、ハチなど191科435種。内8種が絶滅危惧種。

※「改訂・兵庫の貴重な自然」記載種



● ヒダサンショウウオ



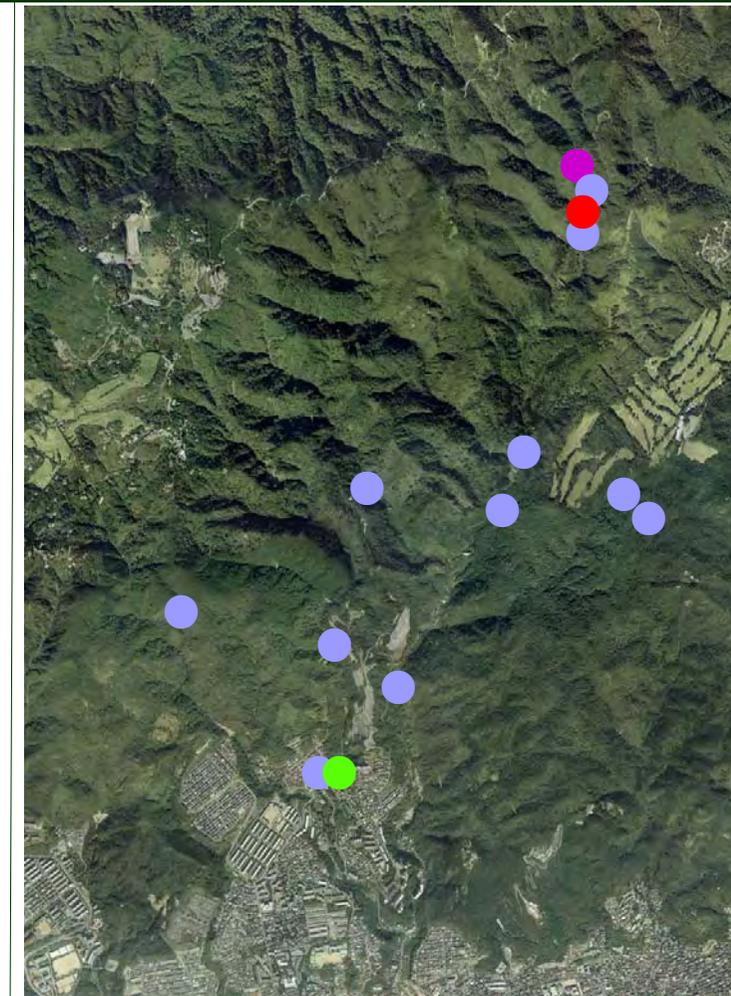
● タゴガエル



● ルリボシヤンマ



● シルビアシジミ



※「改訂・兵庫の貴重な自然」記載種
左記の他

- ・ カジカガエル
- ・ ホンサナエ
- ・ ゲンジボタル
- ・ オオアメンボ
- ・ トゲナナフシ
- ・ ネブトクワガタ
- ・ ウスバカマキリ

■昭和13（1938）年7月、阪神地区に降り続いた長雨で六甲山系の各所で山崩れが発生、土石流が市街地に流出した。住吉川流域では、JR住吉駅付近まで土石流が流出し、甚大な被害をもたらした。



①東谷水車小屋の被害状況



②濁流がおし寄せた住吉山手3丁目



③住吉小学校の被害状況



④JR住吉駅の被害状況



□明治初期の六甲山系は、薪炭材を得るための盗伐・乱伐などにより禿山であった。その影響で山地では崩壊が多発し、豪雨の度に多大な土砂が流出した。（写真①）

□荒廃した六甲山系の緑を取り戻すために、明治中期から山腹工の施工が開始された。（写真②）

□昭和13年に大規模な降雨によって、土石流が発生し、甚大な被害をもたらした。この災害を契機に、六甲砂防事務所が開設され、現在に至って砂防事業が実施されている。（写真③：阪神大水害の被害状況，写真④：現在の六甲山）



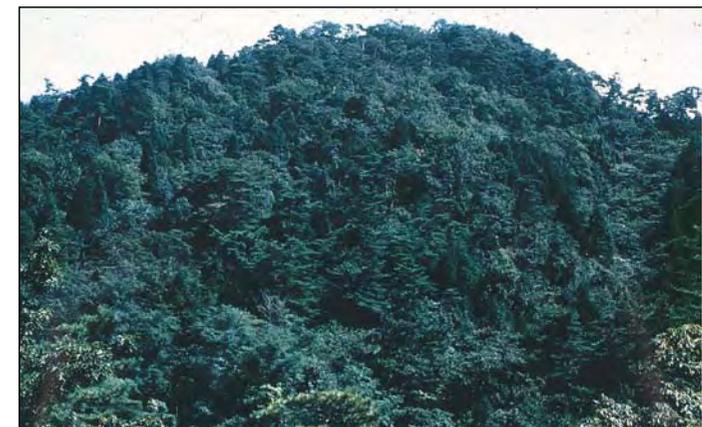
②明治中期の山腹工の施工状況



③昭和13年 阪神大水害による被害状況

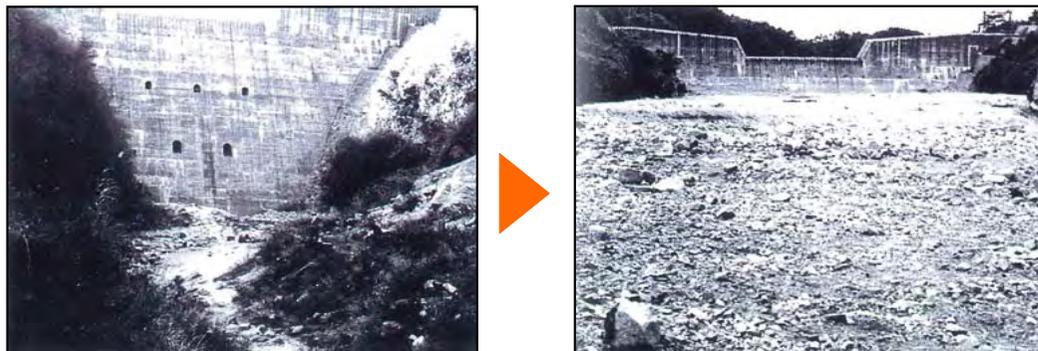


①明治初期の海上から撮影した六甲山



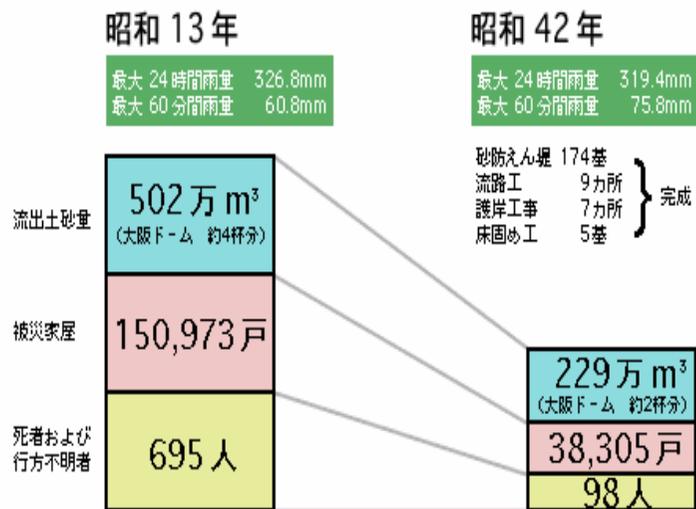
④緑が回復した現在の六甲山

■昭和13年に発生した阪神大水害の後に、六甲山系の多くの流域で砂防施設が整備された。



昭和42年災害による五助ダムの堆砂前(左)と堆砂後(右) 土石流に伴う土砂の流出を防止 (堆砂貯砂量374万m³)

■昭和13年の阪神大水害以降に発生した大規模な災害 (昭和42年災害) では、砂防施設の整備効果が発揮され、被害が軽減された。



※「大阪ドーム」は、アリーナ容積で換算

■住吉川流域には69基の砂防えん堤が設置されており、近年は工事で発生した現地発生土砂を活用したタイプの施設も整備されている。



施工中の五助えん堤(昭和32年)



現地発生土砂を活用した砂防えん堤

■先史・古代

- ・東灘区総合庁舎近くの「埴輪の広場」には、近在の遺跡に関する解説板や埴輪の複製がある。

- | | |
|--------|---|
| □縄文時代 | ①西岡本遺跡 |
| □弥生時代 | ②荒神山遺跡 <small>こうじんやま</small> ③赤塚山遺跡 ④渦ヶ森遺跡 <small>うずがもり</small> |
| □古墳時代 | ⑤住吉宮町遺跡 <small>すみよしみやまち</small> ⑥坊ヶ塚古墳 <small>ぼうがつか</small> |
| | ⑦東求女塚古墳：前方後円墳（碑が残る）
<small>ひがしもとめつか</small> |
| □古代・中世 | ⑨西岡本遺跡 |

- ・本住吉神社もとすみよし：神功皇后じんぐうにまつわる説話が残る。住吉の地名は本住吉神社に由来する。

■中世

- ・雀の松原：古来、魚崎一帯の浜辺の松林のことをさし、景勝地であった。源平の争乱の舞台ともなった。



雀の松原の碑



住吉川沿いの松並木



■近世1

①石切場、石切道

六甲山には良質の花崗岩が産し、荒神山、重箱山、五助山などに採石場が開かれた。



②文禄三年の石仏

付近に古い石造美術品はあまり遺されていない。文禄三年の石仏は区内最古の在銘遺品であると言われている。



③柿の木地蔵

切り出された石材の運搬を見守り続けてきた街角の地蔵。



④大日女尊神社

旧野寄村の氏神。住吉川の大洪水で深江まで流されたという言い伝えが残る。



■近世2

□水車

急流を利用した水車は製油、精米、製粉などに利用され、酒造業、素麺業など麓の産業を支えた。



①山田区民会館横に復元された水車



②水車の広場

□酒造

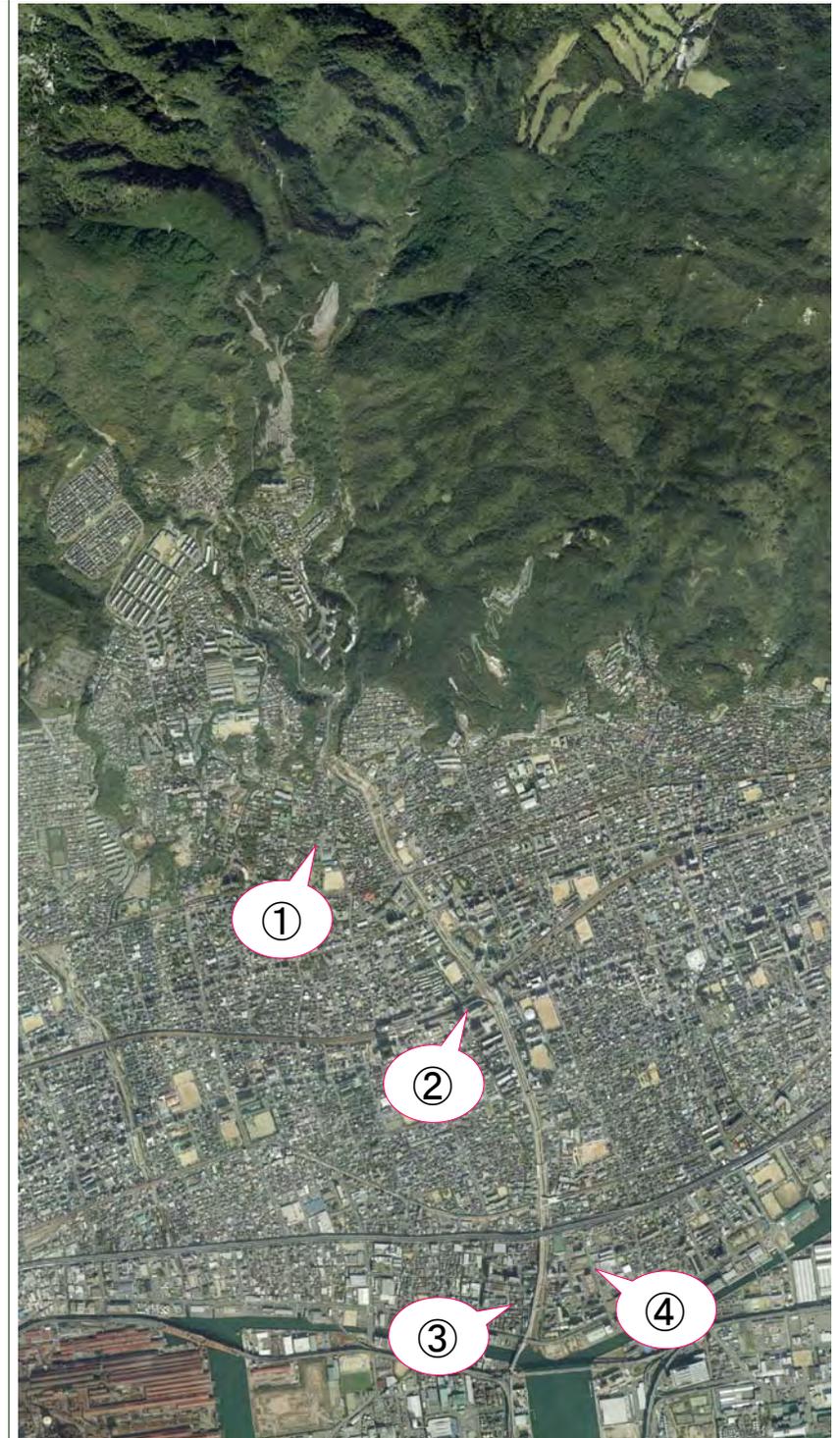
宮水、米、精米、六甲おろしの寒気、杜氏の技、諸々の条件が一体となって灘の酒は生み出された。



③菊正宗酒造記念館



④櫻正宗記念館



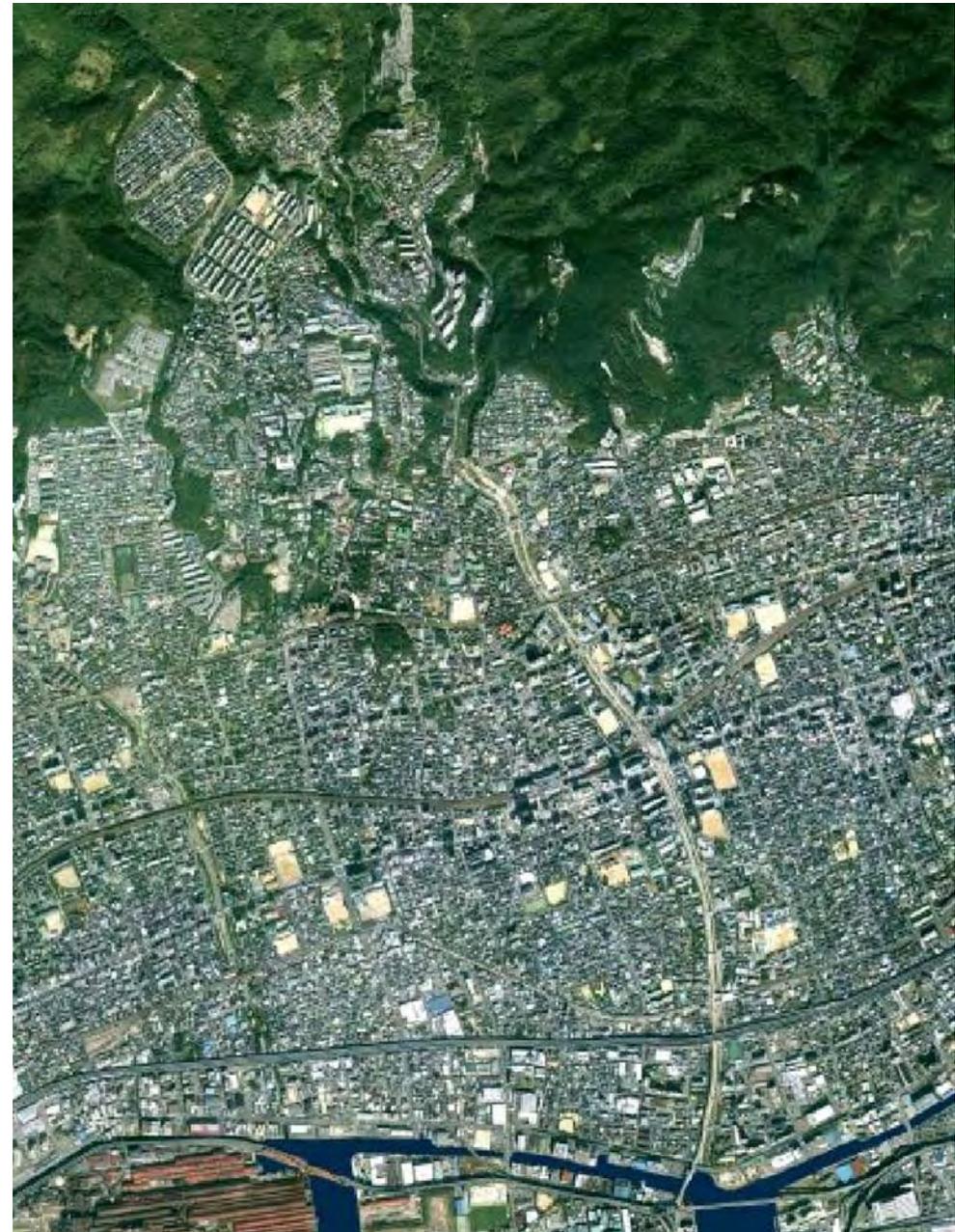
- 明治以降、港湾都市、臨海工業地帯として発展した神戸市への人口流入と都市域の拡大はめざましく、昭和初期には山麓部への住居地の進出もはじまった。



図14-1 住吉川の扇状地

□明治18年 仮製地形図

出典；「六甲山の地理-その自然と暮らし-」

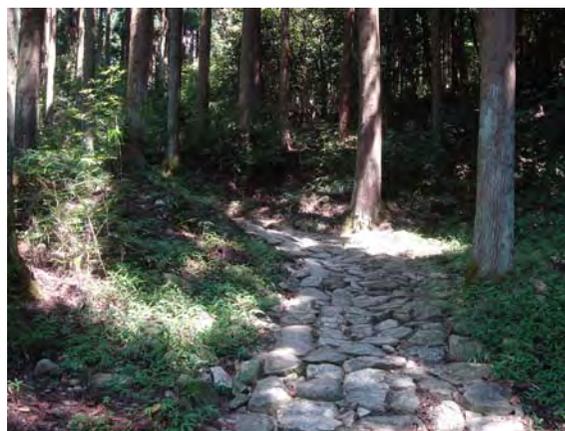


■有馬道（住吉道）

明治7年阪神間に鉄道が敷設された。住吉駅と有馬を結ぶ有馬道は湯治客など多くの人々に利用された。



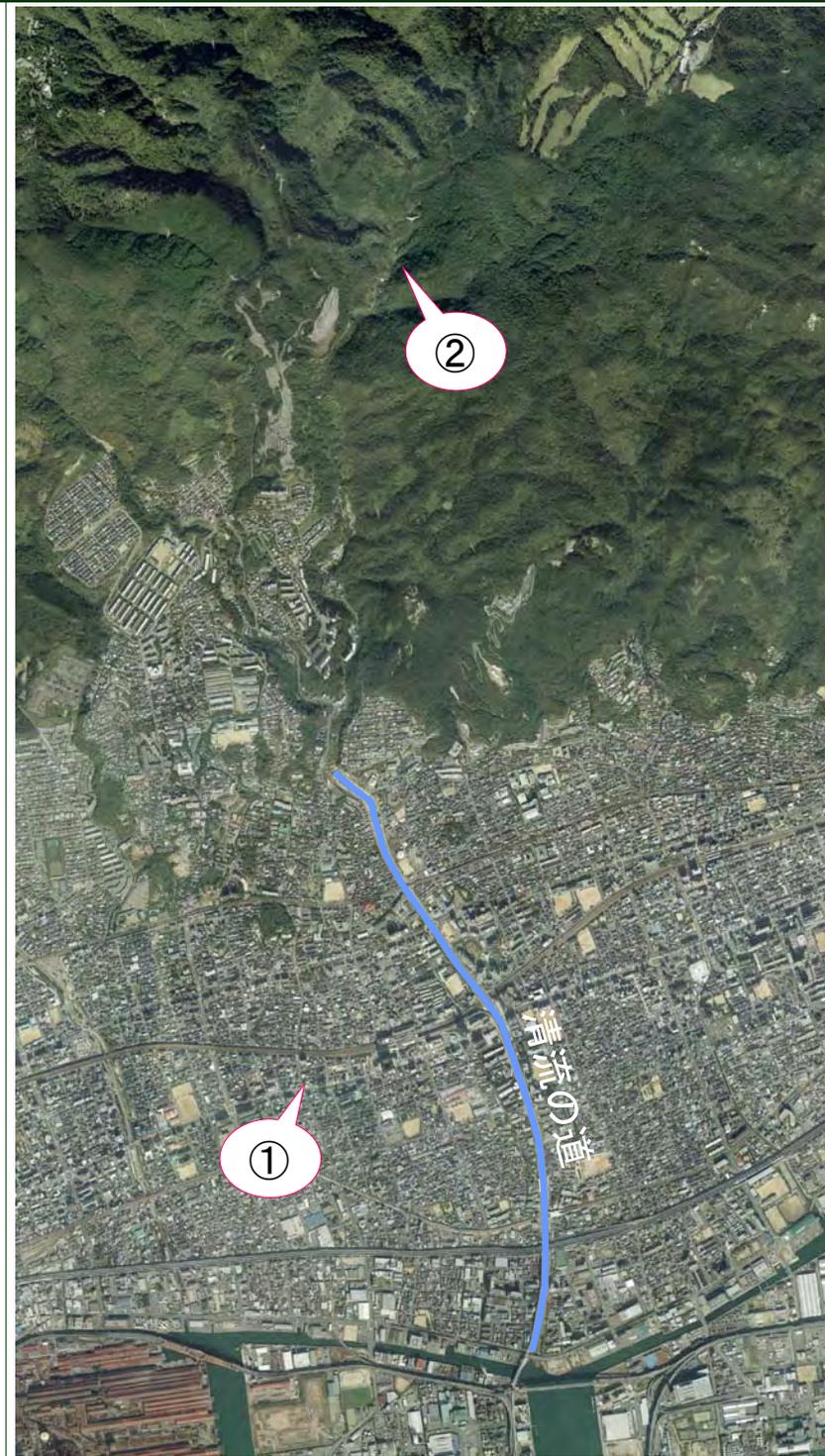
①有馬道の碑



②石畳の道

■清流の道

宅地開発、臨海部埋立のため、住吉川に河中道路を作り、渦森山から約690万立米の土砂が運び出された。現在では「清流の道」として水辺の散策道として利用されている。



■人と車の動線



凡例

人+車の動線	
人のみの動線	



■公共交通



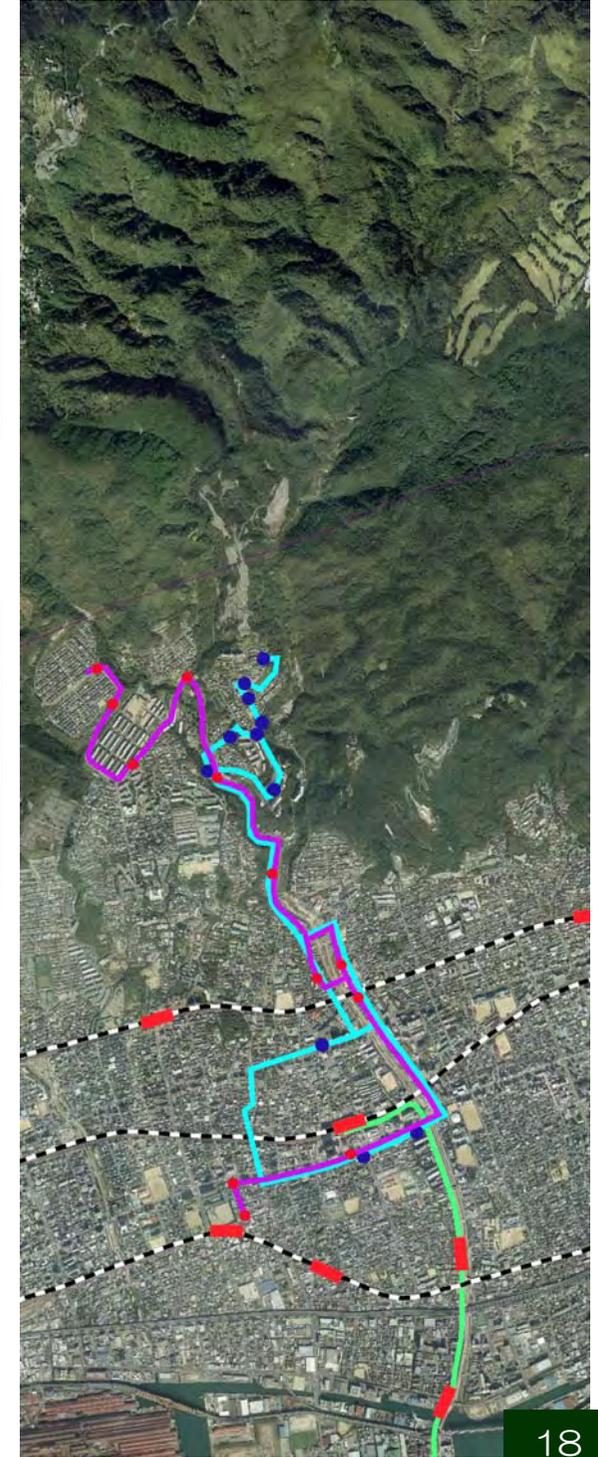
六甲アイランド線
(六甲ライナー)



住吉台くるくるバス

凡例

市営バス	
くるくるバス	
六甲ライナー	
鉄道	
鉄道駅	



4.環境学習などの活動状況

■ 付近の小中学校等教育機関

- ・ 住吉川での、生き物調べ、水質調査、住吉川を詠む描くなどの環境学習活動

■ 住吉川清流の会

- ・ 住吉川親子水辺フェア・住吉川クリーン作戦、水生生物による水質調査、水辺教室など

■ KOBEこどもエコクラブ

- ・ 神戸市環境局
- ・ 親子ふれあい環境教室；住吉川での活動「川の生き物探検隊」

■ 六甲山自然保護センターを活用する会

- ・ 六甲山魅力再発見市民セミナーなど、六甲山自然保護センター（周辺施設）を市民活動の拠点として活かしながら、六甲山についての情報などを行っている。

■ 六甲山と市民のネットワーク（RCN）

- ・ 六甲山の魅力発見を図るための自然探索・自然案内をサポートする「自然探索系」や「エコツーリズム推進モデル事業」などを展開している。

■ 六甲砂防事務所

- ・ 砂防事業等に関する出前講座、六甲山ガイドウォークなど

